

思いやりで争いをなくそう

西成東小学校 六年 間瀬和輝 ませ せき

ぼくは、学校で友達と会って遊んだり、勉強をしたりするのが好きです。友達顔を見るとき安心します。学校に行くと毎日過ごすことが当たり前のことではないという事を初めて知りました。

テレビで、ウクライナの学校がはかいされるところを見ました。家や学校がこわげきをされたのを見て、ぼくは、学校で友達と会う事や勉強をすることをいっしょにしようと思われただけです。

人間はなぜ戦争をするのだろうと思います。日本でも、縄文時代から人が生活を始めて、弥生時代から争っている歴史があることを教科書から知りました。ぼくは、自分が持っているものよりも、他の人が持っているものをとり上げて、自分が得をしようと考えているか、それか、思っています。ぼくには姉が居ますが、姉とおやつの多い少ないを争い、より大きい

多し方を選ぼうと必死になります。どうし
ても姉よりも得をしたいと思つてしまします。
でも、父や母は争いません。ゆずつてあげよ
うと思ひます。自分が得をしようと思わなけ
れば、相手を思ひやる事ができます。
ぼくは、戦争は絶対してはいけないと思ひ
ます。人間は、自分たちの気持ちで相手を思
ひやる事ができます。また、自分の意志をこ
とばで伝える事ができます。ぼくは家でも
学校でも人のものをうばつて取りなさいとは
教えられるていません。武力を使つてしか解決
できないなんておかしいと思ひます。大切な
人間の命や幸せを、同じ人間がうばつて良い
はずがありません。そんなことをしていて、
大人としてはすかしいことではないかと思ひ
ました。日本も、外国にしんりやくした過去
があります。ぼくは、昔のことだから今のほ
くには関係が無いとは言ひません。日本がし
た事によつて、原爆を落されたことを知つて
います。

家族と旅行をした時に、長崎のついでに平和
和記念館で、長崎の街に何が起きたのか知り
ました。記念館を出てから街を歩いたのです
が、体がゾクゾクとして、怖くなったのを覚え
ています。戦争を早く終わらせるために、ま
た、国の力を見せつけるために、核によるこ
うげきがされることがある。はいけません。
戦争だからといって、多くの市民を犠牲に
して、人間の命をうばわれることがある。は
いけません。

ぼくは、これから学校に通い、友達とい
つしよにたくさんのごとに興味を持って学び
たいです。知識が広がり、よりたくさんのご
とを知ることによって、これから先のことを考
えていくことが出来ます。人と人の思いやり
、国同士の思いやりをどうしたらいいのかを
考えるために、ぼくたちの学びの場をうばわ
ないでほしいです。何より、人間の平和をう
ばわないでほしいです。